

チェシャーカレッジ サウス&ウエスト(イギリス)訪問

2019年5月13日から20日まで、近大高専の学生3名と教員2名が交流の覚書を交わしているイギリス(マンチェスター近郊)のチェシャーカレッジ サウス&ウエストを訪問した。これは、昨年(2018年)3月に本校において、チェシャーカレッジ サウス&ウエストの校長代理を迎えて交わされた覚書に基づく相互訪問の1回目。今年度は本校側から訪問したものである。来年度はイギリスからの訪問を受ける予定となっている。



チェシャーカレッジ サウス&ウエスト (Crewe)

●参加者: 制御情報コース4年内藤大稀、2年高森健豪、2年吉松陽菜、溝口博幸(教員)、オルダネス・ジェームズ・ロバート(教員) <計5名>

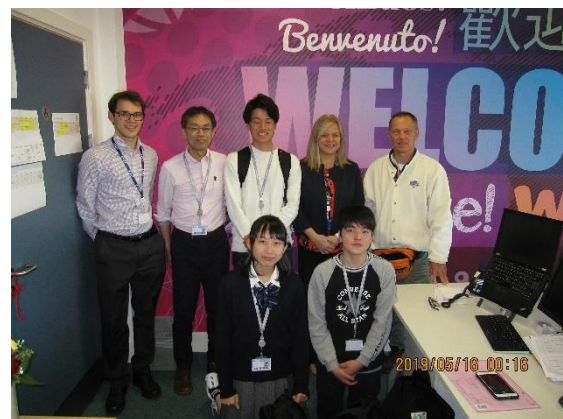
備考: 訪問学生3名は、昨年度に行なわれたチェシャーカレッジ訪問に関する選考審査(英語によるインタビューテストを含む)で選抜された学生。

●期間: 2019年5月13日から20日まで

●活動概要: 13日深夜、関西空港を出発。14日午後マンチェスター空港に到着し、チェシャーカレッジで学内案内してもらった後、ホームステイのホストファミリー宅へ。15日チェシャーカレッジ サウス&ウエストの Crewe キャンパスにて、レンガ積み実習・建築物模型作成実習・英語によるプレゼンテーション。16日3D CAD 実習・Nantwichを訪問し地域自然研修。17日 Chesterを訪問し歴史文化研修。18日 Liverpoolを訪問し博物館や街並みの見学。19日マンチェスター空港より出発、20日関西空港に到着。



チェシャーカレッジ サウス&ウエスト 中庭



近大高専参加者とカレッジスタッフ



共同でより高い建物を作る実習



ブロック積み実習



学生による英語プレゼンテーション



Chester にて歴史文化研修

今回のイギリス訪問は、近大高専の学生にとって大きな収穫があった。言葉が違い文化が違う中で学習や生活をするのが、よい経験になったのは間違いない。コミュニケーションなどうまくいった場合もあるし、うまくいかなかったところもあるだろう。大変だったこともいい経験となるはずだ。それを実際に体験できるのが訪問のいいところである。大変なことを経験できるからこそ、次はこうしようかと意欲が湧いてくるものだと言えるのではないかな。

学生たちが今回訪問したことで経験し感じたことを記している。次にそれを紹介したい。

チェシャーカレッジ サウス&ウェスト訪問を終えて

4 年 制御情報コース 内藤大稀(NAITO, Daiki)

まず飛行機に乗ってからほとんどが英語になっていて、メニューを聞かれるのもすべて早い英語で、本場な感じがしてワクワクしました。こういう飛行機から英語を学ぶ機会があって 1 週間という短い間ではあるがとても密度の濃い時間を過ごせた。ホストファミリーはみんな優しいし、一緒に遊んでくれるし、ご飯はいっぱい出してくれるのでとても居心地がよかった。それと放課後にはホストファミリーがキリスト教会に連れて行ってくれて、イギリスの宗教や文化も学べました。あと、ホストファミリーは、ホームレスの人たちに対することとして、教会でみんなでご飯を食べるという取り組みをしていて、とても良い集まりだと思った。4 年生の英語の授業は上田先生が担当してくださっているのですが、いつも授業で発音のことを言ってくれていて、実際ネイティブの発音は単語同士が重

なっていて授業の成果が少し出せたし、先生の授業は意味のあるものだと、感じる事ができた。また、学校訪問ではエンジニアについて、とても面白い授業をしていました。たとえばイギリスの家の象徴である、レンガを作ったり、パスタやグミなどの食べ物を使ってどれだけ高く積み上げられるかということをしたりみんなで楽しみながら工業のことを勉強していたので、とても良い勉強方法であり良い授業だと思った。また一緒に来てくださった溝口先生やオルダネス先生がサポートしてくれてとても助かりました。もっと英語を勉強したいという欲がでました。



Nantwich にて



ホストファミリーの男の子と

国際交流訪問での体験

2年1組 高森健豪(TAKAMORI, Kengo)

「チェシャー」、聞いてもパツとしない地域だと思います。でも実際に行ってみると、すごくいい地域だと知ることができたこのイギリス訪問。このチャンスをつかめてすごくよかったと思います。チェシャーとはイングランドの北西部の地域であり、チェシャー州とも言われます。その中でもクルー、チェスター、ナントウィッチの3つの町と、リバプールを訪問してきました。

一番の目的、クルーにあるチェシャーカレッジ サウス&ウエストへ行きました。主に工業についての授業を見学・体験しました。イギリスではレンガ造りの家がたくさんあります。そのレンガを使った壁を実際に作ってみました。レンガをくっつけるには、モルタルを使用します。モルタルの盛る量や、広げ方によって隙間の感覚や丈夫さが変わります。すごく細かい作業で難しかったです。

電気電子に関する授業があり、見学をしました。電圧(V)、電力(W)を求める計算についての授業で、難しそうでした。エンジニアになる人たちの授業も受けました。マシュマロ、グミ、パスタ、ポップコーンを使って、一番高いものを作るという授業をしました。チームワーク、アイデアなどチームで出し合い、作りました。すごく楽しい授業でした。

チェシャーカレッジでも3D CAD が使われていました。それを使い、車を設計する体験をしました。日本語ではなく、すべて英語だったので難しかったです。

学校訪問が終わり、私たちはクルーから少し離れたナントウィッチへ行き、買い物や観光をしました。日本と違った風景できれいでした。

チェスターに行きました。昔そこではローマが開拓しており、ローマ文化の跡や遺跡などが残されていました。わたしにとってチェシャーが一番学べる都市だと思います。

最後にリバプールへ行きました。すごく都会で人がたくさんいました。リバプール博物館で古代文化を見たり、触ったりしました。昔イギリスは船で貿易が盛んだったため、たくさんの船があり、その博物館にも行きました。リバプールはたくさんのお店があって、その大きさに圧倒されました。

この一週間はホテルではなく、ホームステイをしました。初日は大歓迎してくれてたkさんのご飯を食べました。私たちはホームステイさせてくれたので、日本からのお土産を渡しました。すごく喜んでくれました。すごく親切にしてくれたホームステイ先でした。そこで学んだことは、向こうの生活習慣です。お風呂はなく、シャワーだけ。小さい子供はタクシーで学校へ行くなど知りました。ほかにはイギリス英語です。晩御飯は dinner ではなく tea と言ったり、フライドポテトではなく chips などイギリスで使う英語を学びました

イギリスでは独自の文化を持ちつつ、いろんな国の文化も取り入れていてすごかったです。もっともっと交流し合いたいと思いました。この一週間で学んだことや、感じた事をできるだけ多くの人に伝えて知ってもらいたいです。そして次、イギリスから日本に来てくれた時は日本についていっぱい学んで感じてもらいたいと思っています。イギリスに旅行する機会があったら、いけなかった産業革命に関する博物館に行きたいと思いました。

今回の訪問にかかわってくれた、ホームステイファミリー、チェシャーカレッジの先生方、一緒に行ってくれた溝口先生とオルダネス先生、そして二人の仲間に感謝です。ありがとうございました。



3D CAD 実習



ホームステイ先で

イギリス訪問を終えて

2年4組 吉松陽菜(YOSHIMATSU, Hina)

私は、あまり英語が得意ではありません。ですが「海外に行ってみたい！英語で会話をしてみたい！」という気持ちが小さい頃から強くありました。

ずっと夢だったイギリス訪問、初めて英語だらけの場所に来て、最初はみんなが何を話しているか全く聞き取ることができず、とても焦り、パニックになりました。今まで英語を学校で習ってきたのだから少しは話せるだろうと思っていたからかもしれません。これから1週間、ひとりでホームステイができるのか不安に駆られました。

しかしホストファミリーは親切で、色々なところに連れて行ってくれたり、英語やイギリスの文化などを教えてくれました。また、ホストファミリーと共に生活をするにつれて自然に英語が聞き取れるようになり、簡単なコミュニケーションをとることができるようになりました。

最初は不安だった気持ちも、イギリスでの生活が楽しくてあっという間に吹き飛んでしまいました。ですが、自分の話したいことを上手に表現できないもどかしさがありました。例えば、ホストマザー

に「今日はどうだった？」と聞かれても、「楽しかったよ。」とか「街がとてもきれいだった！」くらいしか言えなかったり、家族の会話について行けなかったりと英語を知っていたらさらに楽しく過ごせたのかなと思いました。そのことから「もっと英語を知りたい。いつかまた海外に行く時までには会話ができるようになっていたい。」と、さらに英語を勉強しようと思える良い刺激になりました。

イギリス訪問では、チェシャーカレッジに通って授業を見学や体験させていただきました。学生たちが協力して考えながら授業をするというスタイルがとても目新しく感じ、みんなが自分の意見をはっきり持ち言えるのがかっこいいと思いました。また、小さい頃から訪れたかったチェシャーの城壁の町や大聖堂に行き、歴史を知ったり建造物の美しさに心を奪われました。一週間という短い間でしたが、直にイギリスについてたくさん触れることができました。

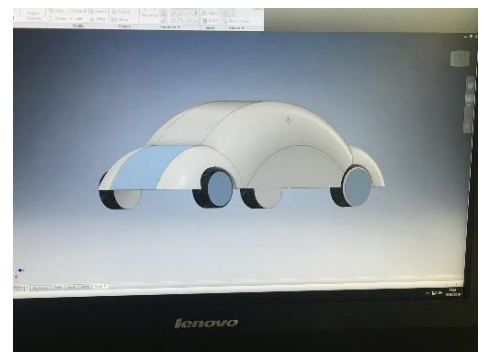
こういう経験をすることは自分自身にとってとても大切な事だなと感じました。私はこのイギリス訪問で感じたこと、考えたこと、身につけたことは一生忘れません。このことを生かして将来に役立てていけるよう頑張ります。



ホームステイ先で



Chester にて



3D CAD 実習での作品